第 80 回数理社会学会大会（JAMS80）プログラム

日時：2026 年 3 月 7 日（土）～3 月 8 日（日）
会場：日本大学　文理学部キャンパス
大会委員長：濱本　真一（日本大学）
開催校：日本大学

1　参加費

一般（会員）	4,000 円	学生・院生（会員）	1,000 円
一般（非会員）	7,000 円	学生・院生（非会員）	3,000 円
当日券（共通）	7,000 円		

2　懇親会費

一般（会員・非会員）	6,000 円	学生・院生（会員・非会員）	4,000 円

3　主なスケジュール

	時間		
3 月 6 日	13:00～15:00	編集委員会	研究活動委員会
	15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	
	17:00～19:00	理事会	
3 月 7 日	9:00～11:05	自由報告I（第 1 部会）	自由報告II（第 2 部会）
	11:15～12:55	萌芽的セッションI	
	12:55～13:45	昼食休憩	
	13:45～15:25	萌芽的セッションII	
	15:25～17:30	自由報告III（第 3 部会）	自由報告IV（第 4 部会）
	17:30～18:30	総会	
	18:40～20:40	懇親会	
3 月 8 日	9:00～11:05	自由報告V（第 5 部会）	萌芽的セッションIII
	11:15～12:55	萌芽的セッションIV	
	12:55～13:55	昼食休憩	
	13:55～16:00	シンポジウム	

4　会場

- 受付：3 号館　4 階　エントランス
- 主な会場：3 号館　4 階　3405 教室　3404 教室
- 会員控室・抜き刷り交換コーナー：3 号館　4 階　3410 教室
- 懇親会：3 号館　1 階　食堂

5　口頭報告者へのお願い（自由報告）

・ 部会開始 5 分前に集合して，司会者と打ち合わせをしてください．報告 15 分，討論 10 分です．
・ 会場設置パソコンを利用できます（Windows11，Office365）．持参パソコンの場合，HDMI 端子接続の Windows ノートパソコンが使用可能です．いずれの場合も持参の機器は，開場前に必ず接続テストをお願いします．
・ ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）．
・ 配布資料は，報告直前に配布してください．残部は持ち帰るか，抜き刷りコーナーに置いてください．
・ （司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください．報告 12 分で 1 鈴，15 分 2 鈴，25 分 3 鈴を鳴らします．

6　ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

・ 1 日目の萌芽的セッションIで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき，セッション終了後に速やかに取り外しください．セッション後 **15 分**経っても残っていたポスターはこちらで撤去します．
・ 1 日目の萌芽的セッションIIで報告される方はポスターを昼食休憩中（12:55～13:45）になるべく速やかに貼りつけていただき，セッション終了後に速やかに取り外しください．セッション後 **5 分**経っても残っていたポスターはこちらで撤去します．
・ 2 日目の萌芽的セッションIIIで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき，セッション終了後に速やかに取り外しください．セッション後 **15 分**経っても残っていたポスターはこちらで撤去します．
・ 2 日目の萌芽的セッションIVで報告される方はポスターを小休憩中（11:05～11:15）に貼りつけていただき，セッション終了後に取り外しください．セッション後 **15 分**経っても残っていたポスターはこちらで撤去します．
・ 最大で A0（縦 1189×横 841mm）のスペースが利用可能．報告ごとにポスター位置が指定されています．
・ ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です．
・ 部会開始 5 分前に集合してください．

7　問い合わせ先

研究事務局　〒662-8501　兵庫県西宮市上ケ原一番町 1-155
関西学院大学　社会学部社会学科　長松奈美江
E-mail: jams.research[at]gmail.com
nagamatsu[at]kwansei.ac.jp

大会開催校　〒156-8550　東京都世田谷区桜上水 3-25-40（文理学部キャンパス）
日本大学　文理学部社会学科　濱本真一

3 月 6 日（金）

13:00～15:00	編集委員会	3 号館　3402 教室
13:00～15:00	研究活動委員会	3 号館　3401 教室
15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	3 号館　3404 教室
17:00～19:00	理事会	3 号館　3402 教室

3 月 7 日（土）

8:30　開場

8:45　開会挨拶　大会委員長　濱本真一　　3 号館　3405 教室

9:00～11:05　自由報告I・自由報告II

【第 1 部会】　数理　　3 号館　3405 教室

司会　藤山英樹（獨協大学）

1	NIMBY 施設設置の一次元モデル ――社会厚生と立地容易性の複合効果	○石田淳（関西学院大学）・ 前田豊（信州大学）
2	学習タイプの異質性が慣習の形成に与える影響	堀田悠生 （東京国際大学経済学部）
3	社会的ジレンマにおける内集団ひいきに関する実験研究 ―国籍に基づく集団と上位アイデンティティに着目した分析―	○門間晴風（東北大学大学院）・ 水野景子（東北大学）
4	解釈主義的合理性に基づく命題的態度の公理的構成	清水裕士（関西学院大学）
5	エスノメソドロジとオートエスノグラフィの数論	落合仁司

【第 2 部会】　教育格差　　3 号館　3404 教室

司会　眞田英毅（武庫川女子大学）

1	Diverging Influence of Fathers and Mothers: Intergenerational Educational Mobility in 20th-Century Japan	○麦山亮太（学習院大学）・ 石橋挙（社会データ構造化 センター／統計数理研究所）
2	教育格差における親の教育アスピレーションの重要性： Gap-Closing Approach による再検討	太田裕一郎（大阪大学大学院／ 日本学術振興会）
3	親と拡大家族の学歴と子の教育達成の関連の時代的変化	石橋挙（社会データ構造化 センター／統計数理研究所）
4	大学進学移動の空間的制約と地元進学の構造変化	濱本真一（日本大学）
5	教育の階層差の横断モデルと縦断モデル：進路希望に対する 出身階層と学力の効果・その時間的プロセス	遠藤優太（京都大学大学院）

＊＊＊＊休憩（10 分）＊＊＊＊

11:15～12:55　萌芽的セッションI
【萌芽的セッションI】

3 号館　3401 教室・3402 教室

1	E When digital advantage accumulates: Socioeconomic inequality at the top of the digital skill distribution across countries	謝伊琳 （東京大学大学院）
2	モンゴル国におけるソーシャル・メディア利用とその要因	湊邦生（高知大学）
3	居住マンションをグループ変数とした商店街利用行動と満足度のマルチレベル分析	○塚常健太（岡山理科大学）・ 太田晃樹（岡山理科大学）・ 天納隆希（岡山理科大学）・ 横山大輝（岡山理科大学）・ 横山ひとみ（岡山理科大学）
4	地域メッシュと緯度経度座標による世帯の準確率標本抽出	○渡辺健太郎（東北学院大学）・ 前田忠彦（データサイエンス共同利用基盤施設）
5	災害廃棄物仮置場の受容	○前田豊（信州大学）・石田淳（関西学院大学）・金太宇（桃山学院大学）
6	ネットワーク上での文化進化における併用可能性の役割	古川真守 （東京科学大学大学院）
7	アジア太平洋戦争中の子どもたちの感情 —日記のテキストマイニングで捉える戦時中の日常—	○妹尾唯可（関西学院大学）・ 渡邊勉（関西学院大学）
8	未婚者は同棲をどのようなものと捉えているのか —二次データ分析による探索的検討—	小河映育花 （お茶の水女子大学大学院）
9	職業評価における地位と適性収入の関係 ——ヴィネット実験による分析	池田岳大（立教大学）
10	日本の全上場企業の役員ネットワークの記述統計とその変化（2008–2024 年度）	藤山英樹（獨協大学）
11	大学地域配置の偏在性の変遷： 居住人口と大学立地の関係に着目して	寺田悠希 （高知大学学び創造センター）
12	教職再生産における分岐要因の探索的検討	三輪卓見（東京大学大学院）
13	大学教育の費用負担問題に関する社会的ジレンマ・モデルの構築	森坂太一（東北大学大学院／日本学術振興会）
14	生成 AI を用いた半構造化インタビューによる生き方に関する調査	○川端健嗣（東京大学）・ 瀧川裕貴（東京大学）

15	学術会議問題を事例とした、文系・理系対立の実証分析 —市民の文理観と科学者の文理別態度—	○宮部裕貴（東京大学）・久保田唯史（京都大学）・楊鯤昊（芝浦工業大学）・鳥海不二夫（東京大学）・田中幹人（早稲田大学）
16	『聞き書きマップ』を用いた「対話」の記録と分析の試み	原田豊（立正大学）
17	子どもの学習行動に影響する要因は夏休みとふだんで 異なるか	胡中孟徳（東京大学）
18	階層間での対話不信の構造	大﨑裕子（日本社会事業大学）
19	Dyna-Q による状態依存的課税政策の学習	大浦宏邦（帝京大学）

＊＊＊＊昼食休憩（50 分）＊＊＊＊

13:45～15:25　萌芽的セッションII
【萌芽的セッションII】

3 号館　3401 教室・3402 教室

1	社会的脆弱性の予期的指標	三隅一人（九州大学）
2	E From Fireman to Firefighter: Semantic Convergence under Gender-Fair Language Norms in Occupational Titles	○Hanhan Sun（東北大学大学院）・Zeyu Lyu（東北大学）
3	幸福度と収入の関連にかんする検討： 尺度の違いに着目して	石橋挙（社会データ構造化 センター／統計数理研究所）
4	ふたり親からひとり親世帯への移行がペアレンティングに与える影響：固定効果モデルを用いたパネルデータ分析	建部知則（学習院大学大学院）
5	キャリア初期の世代間下降移動によるディストレスの経年蓄積——サービス階級との境界	鳥居勇気（日本学術振興会／立教大学大学院）
6	E Encoding Gender in Narrative Tropes	○WANG ZHICHAO (Tohoku University)・LYU ZEYU (Tohoku University)
7	公立小学校の学級内クラスタ形成の社会シミュレーションに向けた LLM エージェントのモデリング	○渡壁晃（京都大学大学院）・ 宮澤和貴（大阪大学大学院）
8	初等教育期の課外活動パターンがその後の教育成果に 与える影響	○小西凌（三重大学）・鈴木健一郎（名古屋大学大学院）

9	社会的報酬と同調圧力の影響を考慮したいじめの 数理モデル	○阿藤寛奈（同志社大学大学院）・ 阿部真人（同志社大学）
10	生成 AI による生成ライフヒストリーを用いた コンジョイント実験	○瀧川裕貴（東京大学）・石橋挙（社会データ構造化センター／統計数理研究所）・川端健嗣（東京大学）・保田幸子（桃山学院大学）・齋藤崇治（名古屋商科大学）・ 呂沢宇（東北大学）
11	排外意識研究における因果と測定 —二つの全国調査の比較から	田野裕雅（東北大学文学部）
12	スティグマが付与された地域に対する差別：福島県産食品の購入に関するコンジョイント実験を用いた検証	○山元玲夏（学習院大学）・ 麦山亮太（学習院大学）
13	新卒採用で学生生活のエピソードはどのように評価されるのか	山口ゆり乃（東京大学大学院）
14	韓国における家族内資源配分： 成人子のジェンダーに着目して	韓仁熙（東京大学大学院）
15	仕事満足度の 10 年の軌跡	吉岡洋介（千葉大学）
16	信念ネットワークの分析	小川和孝（東北大学）
17	近隣による教育達成の格差： 大学へのアクセシビリティに着目した因果分解分析	藤原翔（東京大学）
18	プロ・スポーツの応援歌の歌詞分析： トピックモデルを用いて	木村宏人（敬愛大学）
19	私立中学進学の効果の構造——因果媒介分析による検討	森いづみ（中央大学）

15:25～17:30　自由報告III・自由報告IV

【第 3 部会】　教育・不平等　　3 号館　3405 教室

司会　吉田航（国立社会保障・人口問題研究所）

1	Social Costs of Wage Negotiation across Job Levels	○森川ゆり子（東京大学）・瀧川裕貴（東京大学）
2	Understanding the Disparities in Exposure to Green Spaces and Air Pollution Using Mobility Data and Remote Sensing	山口侑平（東北大学大学院）
3	日本における移民の子どもの学力の実態把握 —全国学力・学習状況調査の分析を通じて—	中原慧（同志社大学）
4	教育格差についての異なるフレーミングが教育政策への選好に与える影響についての研究 —教育格差の生成メカニズムについてのフレームを用いた分析—	○森坂太一（東北大学大学院／日本学術振興会）・小川和孝（東北大学）
5	マルクス主義階級論の復権	斉藤友介（早稲田大学大学院）

【第 4 部会】　健康・社会意識　　3 号館　3404 教室

司会　鈴木伸生（岩手県立大学）

1	E Not Just Covered: Health Insurance Generosity and Functional Limitation Trajectories in Aging China	○楊葉（慶應義塾大学大学院）・百瀬由璃絵（日本女子大学）・Sin Yi Cheung（Cardiff University）・竹ノ下弘久（慶應義塾大学）
2	AI に対する態度・行動の規定要因と生活満足度への影響：コミックマーケット 50 周年調査の分析から	○毛塚和宏（九州大学）・杉山あかし（九州大学）・小林信重（東北学院大学）・杉山怜美（明星大学）・玉川博章（武蔵野美術大学）
3	省力回答者に対してロバストな平均値とその差の推定—回答選択肢のランダマイズ—	○齋藤僚介（大阪大学）・渡辺健太郎（東北学院大学）
4	なぜ世代間で健康状態は継承されるのか？—世代間健康連関メカニズムの解明に向けて—	○北村友宏（国立社会保障・人口問題研究所／慶應義塾大学大学院）・塚田祐介（青山学院大学）・竹ノ下弘久（慶應義塾大学）
5	SNS 利用による孤独感への条件つき平均因果効果—機械学習手法を利用した meta-learner を二次データに適用した探索的分析—	○丹亮人・木田千裕・町田親紀・大鐘智香子・片山愛・千羽敏史（MRI Research Associates, Inc.）

17:30～18:30　総会　　3 号館　3405 教室

18:40～20:40　懇親会　　3 号館　1 階　食堂

3 月 8 日（日）

8:45　開場

9:00～11:05　自由報告V・萌芽的セッションIII

【第 5 部会】　政治・情報・文化　　3 号館　3405 教室

司会　齋藤僚介（大阪大学）

1	第 27 回参議院選挙と第 50 回衆議院選挙の結果を比較する —得票率変動の定量的分析に基づき今後の政治動向を探る—	嶋田一郎（東北大学）
2	誤情報修正は参政党投票と関連するのか —実験パネル調査を用いた検証—	○五十嵐彰（大阪大学）・ 小椋郁馬（一橋大学）・ 西耕平（神戸大学）
3	共同募金における返礼品代替の意思決定支援モデル—エージェントベースシミュレーションによる社会的便益と収益性の評価—	大橋裕太郎（芝浦工業大学）
4	社会学研究にアートベース・リサーチを導入する —社会学と芸術実践の統合はいかに可能か—	○金光淳（京都産業大学）・ イン ビンビン（京都産業大学）
5	「ショパン国際ピアノコンクール」における評価の構造 —初期ステージでファイナル進出者は予測可能か？—	辻竜平（近畿大学）

【萌芽的セッションIII】

3 号館　3401 教室・3402 教室

1	日本の雇用関係と潜在的所得構造	福井康貴（名古屋大学）
2	戦後日本における世代間社会移動の要因分解	小野佑理（関西学院大学大学院）
3	Educational Disparities Among Endogenous Social Groups: A Data-Driven Approach	○川田恵介（東京大学）・ 藤原翔（東京大学）
4	オンライン空間における「ヘイト消極層」の可視化 ——YouTube コメントデータを用いた試み	小原理乃（東京大学大学院）
5	職場における隠れたジェンダー差別？ 因果媒介実験を用いた昇進評価バイアスの検証	○吉田航（国立社会保障・人口問題研究所）・尾藤央延（東京都立大学）
6	子ども期の剥奪経験が将来に及ぼす影響の検討	後藤香織（東京大学大学院）
7	中国における女性の出生意欲の推移 —CGSS による実証分析—	○原媛（同志社大学大学院）・ ○劉宇婷（同志社大学大学院）

8	若者を「闇バイト」から遠ざけるには —非合法労働抑止に関する実証研究—	○橋村奏穂（立教大学）・ 三輪哲（立教大学）
9	集団間ゴシップはいかに協力行動を影響するか ——場面想定実験による検討	○王偉宇（関西学院大学大学院）・ 清水裕士（関西学院大学）
10	エージェントの視野が社会情動の創発に与える影響の シミュレーション	坂本孝丈（静岡大学）
11	文化的嗜好は労働市場でリターンをもたらすのか？ 逆因果性を考慮したパネルデータ分析	濱田樹（大阪大学大学院）
12	自営業層出身者の教育達成に関する研究 ——世代間継承に着目した分析——	西尾知耀（東北大学大学院）
13	Inequality in Everyday Environmental Experiences: Integrating Mobility Traces, Street-View Imagery, and Ecological Momentary Assessment	○呂沢宇（東北大学）・瀧川裕貴（東京大学）・西山勇毅（東京大学）・埴淵知哉（京都大学）・山口侑平（東北大学）
14	不完全な「革命」と世帯間所得格差の変動	鈴木健一郎（名古屋大学大学院）
15	社会経済的地位と経済的意思決定の文脈依存性： 社会的評価と報酬規模に対する適応戦略	辻翔瑛（県立広島大学大学院）
16	固定報酬が及ぼす労働意欲への影響 —オンライン実験による検証の試み—	内藤晃史（東北大学大学院）
17	「嘘」から真実を見抜くことはできるのか： ゴシップの送り手の評判を手がかりとしたベイズ更新モデル	岩村麟太郎（同志社大学社会学部）

＊＊＊＊休憩（10 分）＊＊＊＊

11:15～12:55　萌芽的セッションIV
【萌芽的セッションIV】

3 号館　3401 教室・3402 教室

1	Distributional Patterns of Social Capital	Nobuo Suzuki（Iwate Prefectural University）
2	Trends in Political Attitude among Viewers of Ko Wen-Je's YouTube Channel: Analysis with the NLP model SBERT	○CHU YUNG E（Kyushu University）・Kazuhiro KEZUKA（Kyushu University）
3	地方自治体における公園利用に対する禁止傾向と地域社会要因：自治会と小学校・PTA に着目して	○堂免隆浩（一橋大学）・大﨑裕子（日本社会事業大学）
4	高齢期における就業は孤独感を抑制するか：固定効果モデルによる検証	○服部倖季（学習院大学）・麦山亮太（学習院大学）
5	大都市における高校間トラッキングの内実	小宮拓人（東京大学大学院）
6	柔軟な働き方と働く母親による保育所属性の評価——コンジョイント実験による分析	劉思良（大阪大学大学院）
7	趣味の定量化とコミュニティ規範：アニメファンダムにおける選好・社会関係・行動の統合的分析	○YAN DONGXIN（東北大学大学院）・呂沢宇（東北大学）
8	日本における文化活動評価の分類枠組みの推定	○村上真都（同志社大学大学院）・河瀬彰宏（同志社大学）
9	生成 AI との「個人的対話」がもたらす心理的変容の解明	塩谷芳也（京都産業大学）
10	感情規則の男女差とその変容？	太郎丸博（京都大学）
11	誰が教員希望をもたなくなるのか：職業志向性に着目した検討	山口哲司（東京大学大学院）
12	選択機会の付与と自由の行使の効果	内藤準（成蹊大学）
13	罰による協力の成立可能性—リーダーによる罰のインセンティブ構造の検討—	○小野さくら（北海道大学）・髙橋伸幸（北海道大学）
14	「ショパン国際ピアノコンクール」における評価の構造—評価次元の意味同定の試み—	辻竜平（近畿大学）
15	相対的剥奪モデルの含意に関する一考察	大森寛史（東北大学大学院）
16	どのような親が子育てのために移動するか？—人口移動調査を用いた探索的分析—	北村友宏（国立社会保障・人口問題研究所／慶應義塾大学大学院）

17	誰が誰と婚外恋愛をするのか： 既婚者クラブユーザーデータを用いた分析	○岡田玖美子（奈良女子大学）・五十嵐彰（大阪大学）

＊＊＊＊昼食休憩（60 分）＊＊＊＊

13:55〜16:00　シンポジウム

数理社会学会 40 周年・数理社会学事典刊行記念シンポジウム　　3 号館　3405 教室

― 数理・計量社会学の過去・現在・未来 ―

司会　小川和孝（東北大学）

1	これからの数理社会学史研究に向けて	小田中悠（京都先端科学大学）
2	社会階層研究からみる計量社会学の現在	麦山亮太（学習院大学）
3	「はみだす」数理社会学会 ―数理・計量社会学研究の今後の一つの可能性―	毛塚和宏（九州大学）
	コメンテーター	今田高俊 （東京工業大学名誉教授）
	コメンテーター	佐藤嘉倫（京都先端科学大学／東北大学名誉教授）

16:00〜16:10　　閉会挨拶　大会委員長　濱本真一　　3 号館　3405 教室

（備考）

1. ○印は登壇者を示します．E は英語による報告です．The E symbol stands for English presentations.
2. 「抜き刷り交換コーナー」を設けます．論文，報告書，マニュアル，自作ソフトなどを置けます．事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます．
3. ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です．詳細はセミナー案内をご覧ください．定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします．
4. 大学敷地内は，全面禁煙となっております．ご理解ご協力を願いたします．